

第八回～第十六回全国大会 講演・研究発表内容一覧

第八回(235名)平成10年度 名古屋 期日 7月11日・12日 会場 (株) トーエネック教育センター		第九回(250名)平成11年度 名古屋 期日 7月10日・11日 会場 (株) トーエネック教育センター	
主 題	成長型工業教育から成熟型への転換をめざして	成熟社会における実践的技術者の育成	
講 演	(講話)工業教育をめぐる諸情勢 文部省視学官 岩本 宗治 文部省教科調査官 佐藤 義雄 (実演)山車からくり人形 9代目 玉屋庄兵衛	(講話)工業教育をめぐる諸情勢 文部省視学官 岩本 宗治 文部省教科調査官 佐藤 義雄 (講演)「TFSR JAPAN(自立のための道具の会)」 モンテ・カセム	
第 一 分 科 文 発 表	学 論 文 表 1.遊びから創造へーロボットコンテストの意義ー 小柳 栄次(神奈川・横須賀工) 2.米国の工業技術教育ーコミュニティ・カレッジを中心としてー アショック・アグラワル(セントルイス・コミュニティ・カレッジ) 3.身近な題材を活用した生分解性材料の開発 稲毛 敬吉(東京都総合技術教育センター) 4.ハイテク社会の工業教育のためのカリキュラム ー国際的な基準づくりー 吉尾 二郎(東京学芸大学)	学 論 文 表 1 創造的技術者像に関するアンケート調査研究 木村 寛治(日本工業大学) 2 高校生・大学生の学校生活をめぐる意識に関する調査研究 大平 典男・工藤 雄司(筑波大付属さ坂戸高) 3 新教科「人と技術」の実践 遠藤 信一(東工大付属工) 4 SCHOOL TO WORK(アメリカにおける高校生の就業体験) 佐藤 浩章(北海道大学大学院生)	
第 二 分 科 の 活 性 化	工 業 教 育 の 活 性 化 1.青少年科学技術フォーラムと科学技術教育 木村 寛治(日本工業大学) 2.インナースクール構想を支えるグループワーク指導 平倉 政弘(新潟・新潟工) 3.現代風学校PRについて 宮崎 博文(奈良・奈良工) 駒井 達生(奈良・奈良工) 4.地域に根ざす工業高校の取り組み 安孫子 豊(山形・寒河江工)	工 業 教 育 の 活 性 化 1 教員研修における新たな試みーインターネットを活用した教員参加型研修の試行ー 佐々木 哲(東京都総合技術教育センター) 2 「ものづくり」から学校活性化へー機械工作部・ホバーラフトの指導を中心にー 平野 榮一(福岡・田川工) 3 電磁気学習における電磁波レベルメーターの教材開発について 四元 照道(兵庫・神戸工) 4 工業高校の活性化についてーものづくりと課外活動を中心としてー 田沼 錦幸(秋田・大館工)	
第 三 分 科 の 改 善	教 育 課 程 の 改 善 1.新時代のコンピュータ実習 美馬 誠(大阪・成城工) 2.工業高校における実践的環境教育 飯尾 美行(静岡・浜松城北高) 3.工業系・商業系の融合による地域に根ざした高校づくり 室崎 卯人(北海道・留萌千望高) 4.企業内教育の現状について 伊藤 元行(トーエネック技術短期大学校)	教 育 課 程 の 改 善 1 すばらしき工業教育 加藤 義秀(愛知・春日井工) 2 ネットワークを利用した授業システムに関する総合研究ー透過型走査型電子顕微鏡を用いたマルチメディア教材の開発ー 小坂貴美男(東京都総合技術教育センター) 3 変わりつつある食産ーTAKE OFF 食産ー 梅田 和子(大阪・食品産業高) 4 マイコンの教材開発とその実践 内藤 善文(愛媛・松山工)	
第 四 分 科 の 特 色 化 教 育	個 性 化 ・ 特 色 化 教 育 1.コース制導入(進学コース) 木村 弘(埼玉・大宮工) 2.生徒中心の教育を目指してー一括募集・進学コース 長尾 義則(山口・下関工) 3.一括募集の取り組みについて 岡部 幸一(兵庫・飾磨工) 4.よみがえれ油ヶ淵 小幡 香・井浪 健志 (愛知・碧南工卒業生)	個 性 化 ・ 特 色 化 教 育 1 環境コンサルタント～見た環境教育のあり方について 杉浦 則之(エコ・サポート) 2 特色化 藤田 信雄(新潟・柏崎工) 3 工業高校における情報教育について 関戸 直樹(広島・竹原高) 4 離れからくり人形の制作 吉富 友哉、吉原 武司 鍋田 光将、山口 公寛 (愛知・刈谷工卒業生)	

第十回 (273 名)平成12年度 大阪 期日 7月8日・9日 会場 ホテル アウィーナ大阪		第十一回 (250 名)平成13年度 大阪 期日 7月14日・15日 会場 ホテル アウィーナ大阪	
主 題	21世紀、伝統・進歩をふまえて工業教育の創造へ	主 題	一新世紀—しなやかな工業教育への挑戦
回 想 ・ 記 念 講 演 ・ 報 告	(回想) 日本工業技術教育学会 小林 一也 (記念講演) 文部省職業教育課長 山田 道夫 (講演)「技術者教育を取り巻く環境と課題」 職能開総大校教授 海野 邦昭 「ものづくり各種懇談会の動向と12世紀の工業教育」 文部省教科調査官 佐藤 義雄 (報告)「台湾の工業技術教育」 台湾師範大学教授 李 隆盛 「ジャマイカ技術高校職業教育改善プロジェクト報告」 山形・東根工高 武田 正則	講 演 ・ 講 話	(講演)「IT時代における工業教育の課題」 国立教育政策研究所・文部科学省 佐藤 義雄 「日本の教育を思う」 大阪市立大学 学長 児玉 隆夫 (講話)「技能五輪への積極的参加を」 中央職業能力開発協会 技術開発部長 土屋 征男
第 一 分 科 会 文 発 表	1 夢考房 服部 陽一 (金沢工業大学) 2 アジアの産業教育の抱える問題 吉尾 二郎(星美学園短期大学) 松田 昇一(大分大学) 3 グラフ電卓を活用した工業科目指導法 山下 省三(拓殖大学 工藤 雄司(坂戸高)) 4 研究開発科目「科学技術基礎」の実践と検討 小佐野 隆治・門田 和雄 (東工大付属工)	第 一 分 科 会 文 発 表	1 マイクロ加工に関する研究 大森 整(理化学研究所) 2 ソリッドモデリング学習システムの開発 根澤 松雄(東京都総合技術教育センター)他1名 3 建築技術史の基礎的研究 岡田 義治(栃木・宇都宮工) 4 大宝排水機場に関する調査・研究 山元 章人(大同高) 5 国別特設「工業教育」研修コースの実施と課題 宮川 秀俊(愛知教育大学)他2名 6 結晶の折り紙モデルを利用した実習教材の研究 石原 正三(埼玉県立大学)
第 二 分 科 会 の 活 性 化	1 工業教育の活性化と工業所有権教育 井口 茂 (東京都立科学技術大学) 2 工業教育と技能・技術 酒出 弘二 (大阪・淀川工) 3 新学科「環境システム科」を設置して 藤森 弘 (長野・長野工) 4 光ファイバー通信ネットワーク技術の工業教育 への実践的応用 立野 栄造 (福岡・福岡工)	第 二 分 科 会 文 発 表	1 創造教育に関する考察 天日 三知夫(金沢工業高等専門学校) 2 モンゴル国における専門技術教育に関する研究 サロールトヤー ハドバートル(宮崎大学留学生) 3 リサイクル資源を活用した望遠鏡の製作と制御 四元 照道(兵庫・神戸工) 4 複合技術を養うための模型蒸気機関の製作 山岡 浩(大分工業高等専門学校)他2名 5 実業補習学校設立の背景と役割 深作 貞男(宮崎大学)
第 三 分 科 会 の 改 善	1 魅力と特色あり、時代の変化と地域の期待に 応えられる工業教育 菅井 繁実 (和歌山・和歌山工) 2 本校におけるインターンシップの取り組み 八幡 恭洋 (愛媛・八幡浜工) 3 学校活性化を目指した新教育課程の編成に向けて 富田 一廣 (関西高)	第 三 分 科 会 の 改 善	1 北のジュニアオープンデスクの紹介 豊山 孝雄(北海道・札幌工) 2 リサイクルに関連した実習の教材研究 青井 孝(愛知・愛知工) 3 科学技術教育における可視化教材の開発 内西 克生・稲毛 敬吉(東京都総合技術教育センター) 4 ネットワークによる遠隔ロボット制御 田中伸幸(兵庫・兵庫工)
第 四 分 科 会 特 色 化 教 育	1 スキーロボット・スノーボードの製作 宮澤 茂暢 (新潟・高田工) 2 北海道の工芸教育の現状と課題 伊藤 茂樹 (北海道・音威子府高) 3 地域に根づいた環境教育の実践的研究 中山 弘志 (愛知・碧南工) 4 学校との連携—軽量滑空機の製作— 佐々木 義秀 (東京都総合技術教育センター)	第 四 分 科 会 の 改 善	1 工業教育再生への教育課程の改善 井口 茂(東京都立科学技術大学) 2 知的所有権の取得できる学校づくりを目指して 高橋 良治(山形・東根工) 3 工業教育への期待—企業・保護者の意識調査から— 末松 照敏(岐阜・岐阜工) 4 キャリアガイダンス(進学・就業体験) 藤田 信雄(新潟・柏崎工)
		第 五 分 科 会 特 色 化 教 育	1 本校土木科現場実習の取り組みと成果と課題 釣井 幹也(富山・二上工) 2 技能五輪全国大会入賞 嶋田 圭佑・宮部慎一(東京・蔵前工) 3 開かれた学校づくり—インターンシップと地域連携推進の取 組み 森 幸男(大阪・布施工) 4 本校の地域連携活動について 銀賀 一博(福岡・八幡工)

第十二回(250名)平成14年度 東京		第十三回(204名)平成15年度 東京	
期日 7月13日・14日 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター		期日 7月12日・13日 会場 拓殖大学 文京キャンパス	
主 題	日本のゆるぎない基盤と豊かな心を築く工業教育の推進	主 題	日本のゆるぎない基盤を築く工業教育の推進
パ ネ ル ・ 講 演	(パネルディスカッション) 「21世紀、世界の工業技術教育」 司会：愛知教育大学 宮川 秀俊 パネラー：バージニア工科大学名誉教授 W.E.ダガー 台湾師範大学教授 李 隆盛 拓殖大学名誉教授 小林 一也 (講演) 「21世紀における工業教育」 国立教育政策研究所・文部科学省 佐藤 義雄	パ ネ ル	(パネルディスカッション) 「輝け、ものづくり日本」 コーディネータ：佐藤義雄(文部科学省) パネラー：小杉礼子(日本労働研究機構) 藤田昌宏(経済産業省) 高橋敏夫(拓殖大学) 岩本宗治(大阪電気通信大学)
第 一 分 科 文 会 表	学 1 マイクロマシンによるものづくり工業教育 田島琢二(マルトー) 分 2 地域に根ざした開かれた学校づくり 塚田雅彦(神奈川・向の岡工) 論 3 工業教育における情報教育 工藤雄司(坂戸高)、本村猛能(川村女子大学) 文 4 リニアモーターカー製作 外間実博(埼玉・大宮工) 会 5 建築技術史の基礎的研究II 岡田義治(栃木・宇都宮工)	第 一 分 科 文 会 表	1 人と環境にやさしいものづくりー太陽電池と燃料電池ー 稲毛敬吉(東京・科学技術高) 2 e-learning システムの開発 吉尾二郎(星美学園短大) 3 我が国におけるデュアルシステムの展開II 深作貞男(宮崎大学)、本田洋之(熊本・球磨工)、安水武司(東京・向島工) 4 シーカム教育プロジェクトの実施 小山 実(岡山商科大附高) 5 情報科教育法と情報科の実践のかかわり 角 和博(佐賀大) 6 工業高校卒業生による在学時工業教科内容の評価(追跡調査) 長谷川雅康(鹿児島大)、佐藤史人(和歌山大)
第 二 分 科 文 会 表	学 1 人にやさしいものづくり 稲毛敬吉(東京・科学技術高) 分 2 建築と都市の変遷にみる日本人のものづくり 油浅耕三(新潟工科大学) 論 3 窒化ケイ素セラミックス緻密化 小林基宏(神奈川・川崎工) 文 4 我が国におけるデュアルシステムの展開 深作貞男(宮崎大学)、本田洋之(熊本・球磨工)、 会 5 工業所有権標準テキストの活用 井口 茂(東京都科学技術大学)	第 二 分 科 文 会 表	1 総合的学習の時間を意識した課題研究の指導と評価 平木 勉(石川・県工) 2 ディスクトップ・マイクロマシンによるものづくり教育 田島琢二(マルトー) 3 廃品をリサイクルした教材づくり 四元照道(兵庫・神戸工) 4 授業評価システム 田中哲也(兵庫・姫路工) 5 専門教育における情報教育のカリキュラム編成 工藤雄司(坂戸高)、本村猛能(川村女子大学) 6 Web3D技術による陶磁器デジタルアーカイブの開発 中村隆敏(佐賀・佐賀工)
第 三 分 科 工 業 教 育 の 活 性 化 会 表	1 ジュニアマイスター顕彰制度の取り組み 梅田政勝(神奈川・平塚工) 2 小中高連携によるエコスタディゾーン整備事業 河内秀重(石川・羽咋工) 3 校内LANを利用した成績処理システムの開発 安田政弘(愛知・愛知工) 4 本県の工業教育の推進と知的所有権への取り組み 渡部慶蔵(山形・米沢工)	第 三 分 科 工 業 教 育 の 活 性 化 会 表	1 高大連携の実践 小林俊雄(新潟工科大) 2 より魅力のある工業高校づくり 谷地貞男(岩手・釜石工) 3 インターンシップ 中桐上雄(岡山・倉敷工) 4 北海道定時制工業高校の課題 白野勝義(北海道・函館工) 5 工業所有権教育の在り方 井口 茂(上智大)
第 四 分 科 教 育 課 程 の 改 善 会 表	1 高校生のものづくりコンテスト 野上明夫(東京・向島工) 2 学校活性化事業フロンティア21 柏原真治(広島県教育センター) 3 ものづくりコンテスト全国大会をめざして 楯野 進、高居堅治(神戸市立神戸工) 4 段差車イスの研究開発と特許出願 間瀬好康(愛知・刈谷工)	第 四 分 科 教 育 課 程 の 改 善 会 表	1 本校課題研究の取組みと教材のデータベース 番土 隆(富山・砺波工) 2 技術革新に対応した実践力と創造性の育成 諏佐真一(東京・蔵前工) 3 教育目標の具現化 大居俊男(長野・岡谷工) 4 科目「工業技術基礎」の活用 児玉鉄夫(宮崎・延岡工) 5 神奈川県工業高校改革の動向と在り方 西尾重健(神奈川・藤沢工)
第 五 分 科 個 性 化 教 育 会 表	1 本校インターンシップの目指すもの 熊田良治(福島・白河美) 2 ケナフを活用した環境教育 海野美子(富山・高岡工芸高) 3 工業教育の活性化を目指した1つの実践 高妻和彦(宮崎・前宮崎工)、東 貞美(宮崎・日向工) 4 北海道の工業高校の個性化・特色化について 本田清一(北海道・札幌琴似工)	第 五 分 科 個 性 化 教 育 会 表	1 地域連携の取組みーネプタの製作ー 工藤 剣(青森・五所川原工) 2 工業英語の実践 戸谷裕明(大阪・淀川工) 2 ものづくりを通じたIT教育の実践 高橋 勉(埼玉・大宮工) 4 マイクロロボットの製作 松谷宏明(愛知・名南工) 5 本校におけるものづくり教育の実践 岡田幸雄(栃木・小山北桜高)

第十四回(237名)平成16年度 名古屋 期日 7月10日・11日 会場 (株)トエネック教育センター		第十五回(204名)平成17年度 豊田市 期日 7月9日・10日 会場 愛知工業大学	
主 題	夢に挑戦する若者を育む工業教育に向けて	主 題	夢と希望に挑戦する若者を育む工業教育の推進
講 話 ・ 講 演	(講話)「これからの工業教育について」 国立教育政策研究所・文部科学省 池守 滋 (講演)「トヨタ自動車、中部電力、JR 東海の3社が設立する中高一貫校 “海陽中等教育学校”の開校に向けて」 海陽学園設立準備委員会事務総長 磯部 克	講 演 ・講 話	(講演)「HSST “リモノ” に賭けた」 中部 HSST 開発株式会社 社長 藤野 政明 (講話)「工業教育について」 国立教育政策研究所・文部科学省 池守 滋
第 一 分 科 文 会 発 表	学 1 PCM 手法によるものづくり学習プログラムの開発研究 武田 正則(山形・東根工) 論 2 我が国におけるデュアルシステムの展開III 深作貞男(富崎大学)、本田洋之(熊本・球磨工)、安水武司(東京・向島工) 文 3 サウジアラビア派遣報告 木村 栄一(新潟・上越総合技術高) 会 4 卓上ミニマシンによる微細加工・組立実習の報告 田島 琢二(マルトー) 表 5 壁面移動ロボットの設計・製作 日高 義浩(宮崎・富崎工)	第 一 分 科 文 会 発 表	学 1 PCM 手法を活用した教育課程の評価の在り方 武田 正則(山形・東根工) 論 2 我が国におけるデュアルシステムの展開IV 深作貞男(富崎大学)、本田洋之(熊本・球磨工)、柳坂武司(東京・向島 工) 文 3 イングランドにおける Technology 教科の教育課程と教材 四元 照道(兵庫・西はりま養護学校) 会 4 課題研究の取り組み 稲毛 敬吉(東京・科学技術 高) 表 5 IT バリアフリーに焦点を当てたものづくり教育の実践 日高 義浩(宮崎・富崎工) 6 知的財産権教育の課題とその推進策 井口 茂(上智大)
第 二 分 科 文 会 発 表	学 1 IT ものづくり教育「3次元 CAD 設計」の実践報告 高梨 哲夫(福島・福島工) 論 2 中国における専門技術教育の現状 深作 貞男(富崎大)、李 志調(富崎大) 文 3 クリーンエネルギー実習の教育効果について 福井 一夫(大阪・東住吉工) 会 4 室内遊具の開発と産業財産権の取得 柴田 武秀(広島・宮島工) 表 5 産業財産権実施1年目の課題とその推進策 井口 茂(上智大)	第 二 分 科 文 会 発 表	学 1 東予市鏝絵地図 高須賀 寿(愛媛・松山工) 論 2 情報教育の「ものづくり」カリキュラムの比較検討 本村猛能(川村女子大)、西川 徹(城西国際大)、工藤雄司(坂戸高) 文 3 体系的情報教育「論理回路学習」の知識の構造化 本村猛能(川村女子大)、工藤雄司(筑波大附坂戸高) 会 4 ものづくり教育における感性と気づきに関する研究 木村寛治(日本工業大)、片岡 浩(相模女子大) 表 5 自家用電気技術者研修報告 磯崎憲史(埼玉・大宮工) 6 課題解決のできる実習をめざして 東正之(宮崎・佐土原 高)
第 三 分 科 教 育 の 活 性 化	工 1 地域に立脚した特色ある学校づくりの実践 宮野 悦夫(山形・長井工) 分 2 ものづくりを通じた地域との連携活動 立部 紀夫(神奈川・小田原城北工) 科 3 ものづくり環境学習の企画・運営 新山 雄士(北海道・苫小牧工) 会 4 地域とともに歩む工業高校 本井 俊和(兵庫・姫路工)	第 三 分 科 教 育 の 活 性 化	工 1 夢・挑戦・感動 佐藤義光(青森・弘前工) 分 2 北海道工業クラブ連盟の実践 福井 誠(北海道・札幌琴似工) 科 3 5インチ鉄道の製作 小久保寿也(愛知・豊橋工) 会 4 高校生ものづくりコンテスト橋梁模型設計制作部門 木村千文(宮崎・延岡工)
第 四 分 科 教 育 の 改 善	教 1 ネットワーク実習教材の開発と評価 平木 勉(石川・県工) 分 2 東京都工業高等学校の改革について 瀧上 文雄(東京・町田工) 科 3 教育特区「愛知県デュアルシステム」 蜂須賀 豊(愛知・愛知工) 会 4 文部科学省研究開発学校最終年度報告 諏佐 真一(東京・蔵前工)	第 四 分 科 教 育 の 改 善	教 1 神奈川県工業高校改編の取り組み 川瀬磯男(神奈川・総合産業高) 分 2 環境教育ゾーンにおけるクリーンエネルギーの学習 米川 秀(石川・羽咋工) 科 3 あいち・知と技の探求教育特区 森田満夫(愛知・愛知工) 会 4 本校就業体験の取り組み 児玉鉄雄(宮崎・延岡工)
第 五 分 科 特 色 化 教 育	個 1 ハイブリッド発電方式 須田 和仁、佐々木伸一(秋田・秋田) 分 2 次世代 IT を活用した未来型教育の在り方 堀口 真史(埼玉・浦和工) 科 3 高校生ものづくりコンテストにおける化学分析指導 井上 満(愛知・鶴城丘高) 会 4 ものづくり教育への取り組み—技能検定(旋盤2級)への挑戦— 加藤 良和(愛知・岡崎工)	第 五 分 科 特 色 化 教 育	個 1 木造住宅の簡易耐震診断授業の展開について 西尾正人(宮城・古川工)、竹 幸広(宮城・石巻工) 分 2 ロジック LSI 設計技術による福祉用具 安田倫己(静岡・浜松工) 科 3 木質バイオマスエネルギーの利用 山田啓次(大阪・佐野工) 会 4 工業技術英語の在り方 安部則男(愛知・春日井工)

第十六回(190名)平成18年度 兵庫県芦屋市 期日 7月8日・9日 会場 芦屋大学				
主 題	愛に根付き実に向かう工業教育の推進			
講 演 ・ 講 話 ・ パ ネ ル	(講演)「ノーベル賞受賞者を育んだ企業風土」 一次代を担う若き先生たちへの提言— 株式会社島津製作所 代表取締役会長 矢嶋 英俊 (講話)「学習指導要領改訂に向けて」 国立教育政策研究所・文部科学省 池守 滋 (パネルディスカッション) テーマ「ものづくり教育の充実と技能・技術教育の改革」 コーディネータ:矢野 裕俊(大阪市立大学教育センター教授) パネリスト: 南斎 征夫(大阪市立大学名誉教授)、青木 豊彦(東大阪市ものづ くり親善大使)、櫻井 和雄(神戸村野工業高等学校長)、横内 環(大阪府中学 校技術家庭科研究会長)			
第 一 分 科 文 会 発 表	学 論	1 ロボット製作による中高連携授業の展開 坂田安永(東京・総合工科 高) 2 近代日本における中等工業教育成立過程 柴田武秀(広島・東府中高) 3 我が国におけるデュアルシステムの展開Ⅴ 深作貞男(宮崎大学)、 本田洋之(熊本・御船高)、柳坂武司(東京・向島工) 4 初級技術者養成の視点からみた工業高校の専門教育 伊藤一雄(関西福祉科学大) 5 ワークショップへ導くためのロジックツリー演習テキストの研究 武田正則(山形・東根工)		
第 二 分 科 文 会 発 表	学 論	1 セッション 工業技術教育内容の調査研究—30年間の調査結果— 1) 実験・実習内容を中心とした調査の目的と経過 長谷川 雅康(鹿児島 島大) 2) 機械科の実験・実習内容の変遷 長谷川 雅康(鹿児島大)、 門田 和雄(東工大附科技高) 3) 電気科の実験・実習内容の変遷 三田 純義(群馬大) 2 記号論理学を中心とする論理回路学習の実践と知識の構造化 工藤 雄司(筑波大附坂戸高)、本村猛能(川村学園女子大) 3 マイコン実習教材に関する考察 荒川 昇(長野・岩村田高) 4 大学進学した高校工業科出身者の目的意識と職業観に関する研究 若宮 智(広島・宮島工)		
第 三 分 科 文 会 発 表	工 業 性 教 育 の 活 動	1 魅力あるものづくりへのアプローチ —コンクリートカヌーの製作から— 櫻井 晋弥(山形・山形工) 2 神奈川県における高大連携の取 井上 勝範(神奈川・神奈川工) 3 工業・工科高校生を対象としたCSR(企業の社会的責任)の取組み(仕 上加工研修について) 小多田 正美、奥嶋建城(松下電工工科短大) 4 若年者へのものづくりの継承児玉澄人、工藤直記(株きんでん)		
第 四 分 科 文 会 発 表	教 育 改 善 課 程	1 企業研修を通して学んだこと 富沢 健一(埼玉・川口工) 2 専門高校の特色を出すための資格 保坂芳史(新潟・上越総合技術高) 3 産業教育技術研修を終えて—旋盤技能検定2級の取得— 近藤 貴嗣(愛知・豊橋工) 4 地域に開かれたものづくり教育の実践 山口直人(愛知・碧南工)		
第 五 分 科 文 会 発 表	個 性 育 成 特 色 化	1 ハイブリッド発電方式 須田 和仁、佐々木伸一(秋田・秋田) 2 次世代ITを活用した未来型教育の在り方 堀口 真史(埼玉・浦和工) 3 高校生ものづくりコンテストにおける化学分析指導 井上 満(愛知・鶴城丘高) 4 ものづくり教育への取り組み—技能検定(旋盤2級)への挑戦— 加藤 良和(愛知・岡崎工)		